

地域安全マップづくり支援事業(松山市荏原地区)

松山市荏原公民館と荏原小学校PTAの主催。公民館より要請を受け、安全マップづくりに必要な企画立案および事業進行を支援。その結果、地域の大人は子どもへの関心が深まり、子ども自身も安全確認の大切さや自分たちのまちの良さなどを知った。

7月26日 8:45~12:00
荏原公民館および荏原地区



平成20年度

やり遂げる大切さを知った
だからがんばれる
舜友



地域教育実践交流会

愛媛県を中心に「子どもとかかわる」大人180名が集合。相互の情報交換の場として、また、元気を分かち合い新たな活動を展望する場として開催。

平成20年11月22日~23日 国立大洲青少年交流の家
世話人：讃岐 幸治・若松 進一・村上 伸二・塩崎千枝子・白方 雅博
オリエンテーション 13:00~13:30 讃岐 幸治
11月22日 分散会 13:45~16:20
卓話 16:30~17:30 若松 進一・堺 雅子
親睦会 19:30~
11月23日 講演会「子どもは社会のかすがい」9:00~10:30
伊藤俊夫氏(財団法人日本生涯学習総合研究所理事)
パネルディスカッション「新しいつながり支援から志縁へ」10:40~12:30
パネラー：塩崎千枝子・村上 伸二・白方 雅博
コーディネーター：井門 照雄

今年度、初めて開催した民間の交流会であったが、好評のうちに進められた。平成21年度も引き続き開催予定。より多くの方々に参加していただいて明日の活動に生かしてほしい。



無人島チャレンジ実行委員会



不便・不自由・不足の中で・・・
自分の発見……………厳しい環境下で自分と向き合う場
相互依存の発見……………友だちの大切さ、親の世話になっている自分に気づく
認知世界の自覚……………自分の体と五感を通して掴む世界
人間関係の広がり……………心のゆとり
獲得……………不便・不自由を克服して、潜在的な能力に気づく

8月2日~11日 愛媛県の小中学生に呼びかけると227名の応募。41名を抽選で選び、指導者・本部スタッフ23名合計64名で「御五神島」を中心に9泊10日のキャンプ。

中学生ジュニアリーダー研修会2008

みんなの居場所としての学校を創る生徒会活動の育成
8月9日~10日 松山市内8校から33名の生徒会役員、11名の教員、愛媛大学白松准教授と愛媛大学学生7名等総計56名が松山市野外活動センターに集合した。
松山ホストライオンズクラブ、愛媛大学、松山市特別活動主任会との協働支援事業



TO BE CONTINUED

NPO法人 えひめ子どもチャレンジ支援機構



自主事業

みんなのでチャレンジみんなのチャレンジ



1回目 7月19日~20日

ふれあい青少年交流センター

顔合わせ、大学生4名・中学生4名

何にチャレンジするのか決める。南予の「海」を楽しむことに決定!



海楽る...ミラクル 松山発



2回目 8月18日~19日 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲2420 須の川へキャンプ

銀細工体験・真珠養殖講座・釣り・夕食/朝食作り・シュノーケリング・シーカヤック体験をする。

真珠講座を聞いて、環境問題を考えた……真珠を守りたい

夕食のバーベキューは釣りで獲れた魚……リーダーが黙々と焼いていた。

シュノーケリングは水族館のようだった。海を楽しめた! やろうとする・やってみる・やり遂げる!

仲間の大切さを再確認した。



3回目 9月23日 松山市久米公民館

南予の郷土料理を作る。(ひゅうがめし・鯛のお吸い物・じゃこてん・茄子など)

午後からは、釣った魚の名前を知るため、魚のカルタ作りをする。

ゲームを通して魚の名前や漢字を覚える。



4回目 10月26日~27日 松山市野外活動センターにて発表準備・松山市青少年センター発表

パワーポイントで発表ののち、見学者(保護者・教員)と一緒に魚かるたをする。

大学生の感想: 人との出会いを大切にする。積極的にさまざまなことに挑戦する。なにごとあきらめない。

中学生の感想: 仲間を大切にする。まわりに流されない自分をもつ。チャレンジを忘れない人生を送る。



八幡浜発 ひと夏の思い出 3S Priceless



フラフープのゲームを楽しむ

七月五日~六日 伊方町 瀬戸アグリトピアにて

1回目 小学生2名・中学生3名・高校生5名の参加者

仲間になるための交流会(ゲーム)や調理実習をスケジュールに入れながらアクションプランをつくる。

グループ名の3Sとは3つのショク(食・職・触) Pricelessとはお金には換えられない価値あるものを目指して今年度の活動は「室戸へ行ってイルカとふれあう」ことに決定!!



八月九日~十日 国立室戸青少年自然の家 室戸ドルフィンセンター



2回目 チャレンジ本番 ひと夏の思い出2008

シュノーケリングに挑戦。慣れないウェットスーツを着るのにメンバー同士が助け合う。海の中はきれいな魚でいっぱい。

「イルカとふれあう」思ったより柔らかくて、触れることができ感動!

インストラクターの方に教えていただいた合図に答えてくれたイルカ。

とてもかわいいその姿に時間が経つのも忘れてしまう。



3回目 発表会

午前中資料づくり。午後発表および、参加者全員でクリスマス会。

リーダーの感想: イルカとふれあって、自然の大切さや命の大切さに気づいた。大人の支援に感謝の気持ちを忘れることなく生きていきたい。

メンバー: 大自然のすごさやみんなと協力することの大切さを知ることができた。



十二月二十日 八幡浜市松陰地区公民館